

| 【 6 月 の 行 事 】 | | |
|---|---------|---------------------|
| 2日(日) | 午前 9:00 | ゴーヤー勝負 (宇堅長寿会) |
| 9日(日) | 午前 9:00 | 区内清掃 (雨天順延) |
| 11日(火) | 午後 2:00 | EMゆがふ会 |
| 13日(木) | 午後 2:00 | 宇堅守の会 |
| 18日(火) | 午後 2:00 | ミニデイサービス (グランドゴルフ) |
| 23日(日) | 午前11:30 | 慰霊祭 (戦後73年) |
| 【その他の行事】 8~10日:中体連/ | | |
| 【 7 月 の 行 事 】 | | |
| 16日(火) | 午後 2:00 | ミニデイサービス (体操&ストレッチ) |
| 22日(日) | 午前 9:00 | 長寿会グランドゴルフ大会 |
| 【その他の行事】 5日:うるま市市民総決起大会/13・14日:うるま市総合文化祭(舞台の部) /21日:参議院議員選挙 | | |
| 【 8 月 の 行 事 】 | | |
| 9日(金) | 午前 8:30 | 夏休み体験学習 (泥んこ遊び、他) |
| 13日(火) | 午後 2:00 | EMゆがふ会 |
| 14日(水) | 午後 5:00 | 子ども会 道ゾーネ (旧盆イッ) |
| 20日(火) | 午後 2:00 | ミニデイサービス |
| 調整中 | | 長寿会ゲートボール大会 |
| 【その他の行事】 | | |

公民館で、指定袋(ゴミ袋)を販売しています。もちろん、公民館の利益はありません(市販よりわずかにお得)。また、ペットボトルと廃食油の回収も行なっています。

| 備考 | 8月 | 7月 | 6月 | |
|--|--------------|---------------|------|-------|
| ①練習日時:火(6:30~7:30) 金(7:00~8:00) ②雨天時:ホールで練習 道ゾーネは中日(8/14) | | | 4日開始 | エイサー |
| ①実施日:月~金(土日休み) 6:30開始 ②場所:公民館、大洋建設 ※最寄りの場所へ | ← 23日 | ← 22日 | | ラジオ体操 |
| ①実施日:月~金(土日休み) 9:00~11:30 ②場所:公民館 ※ボランティア募集です。高校生・大学生大歓迎 | ← 23日 | ← 22日 | | 勉強会 |
| ※久しぶりに北部ピクニック ※見守り役の保護者募集(懇談しよ~!) | ★9日: 体験学習 | ★27日: 天小祭り | | 体験学習 |

宇堅子供会からのお知らせ

健診日程

うるみんでの集団健診日程です。宇堅の指定日は6/28ですが、それ以外の日も受診できます。個別健診(医療機関に予約)もあります。

注意: 保険証を持参すること
※受付:午前=8:30 / 午後=1:00

| | | | | |
|---|--|----|----|------------------|
| 6 | 14日(金) 18日(火) 19日(水) 27日(木) 28日(金) | 宇堅 | 11 | 25日(月) 26日(火) |
| 7 | 21日(日) | | 1 | 21日(火) 22日(水) |
| 8 | 24日(土) 25日(日) | | 2 | 2日(日) |

自治会勉強コーナー

(このコーナーは面白いな、すごいな~と思った地域を紹介)

限界集落の社会貢献

宮城県石巻市

網地島ふるさと楽好

設立経緯および目的

網地島(あじしま)は、仙台から車と船で3時間もかかる交通不便な離島。かつては、小学生だけで500人以上もいた時代もあったが遠洋漁業や捕鯨の衰退により、今ではわずか400人余りの島となった。高齢化率も約80%で、高齢者が漁業と年金で細々と暮らす島である。特に網地浜地区は、約100人の高齢者ばかり住む限界集落だ。子どもは一人もおらず、10年後には無人となる運命にある。そのため、子どもの大切さや愛おしさを身にしみて感じている集落でもある。



(近年)最も愛情を注いでもらえぬ親等から、子どもたちが虐待され、辛い目にあわされている事件が、毎日のように報道されている。この集落では、虐待された子どもたちにできることはないかと考え、平成18年に「網地島ふるさと楽好(がっこう)」の開校を決めた。

投票ロケット

投棄された土地の所有者に処分の義務があります。遊休地を適正に管理することが必要です。ご注意ください。

空き家について

管理されていない空き家が老朽化し、剥落や倒壊などで、人的・物的被害が生じた場合、損害賠償が生じます。ご注意ください。



額を寄せ合ってつづ貝を剥いています

仙台市内の四つの児童養護施設の子どもたちが、島のおじいちゃんやおばあちゃんと、島の食事作りを行うことにより、本当の家族のように過ごして、島の楽しい思い出をたくさん作ってほしい。そして、将来自分の家族を持ったときに戸惑わないように、温かな信頼関係を築く練習をさせてあげたいと考えている。虐待に苦しんできたことが分かる、おなかにも大きな火傷の痕や沢山の虫歯の治療痕がある子どもたちも、網地島の夏の思い出をたくさんつくり、屈託のない笑顔で帰っていく。

島の交流を通じ、子どもたちには、大切にされ、愛される記憶を持ってもらいたい。また、無私の島の人たちの気持ちも伝わってほしいと考えている。このことが自分を大切に想い、周りに感謝する気持ちを育て、子どもたちを幸せに導いてくれるはずだ。

救急医療情報キット

高齢者の万一の緊急事態に備えて。
①かかりつけ病院
②緊急連絡先
③持病
④診察券(北^-)
⑤健康保険証(北^-)

SOSネットワーク事業

認知症高齢者の検索のための事業です。登録することで、迅速に検索活動ができます。

「宇堅守の会」メンバー募集中
主な目的は、見守りの必要な方(高齢者世帯など)の把握、見守りや、減災・防災等の取り組みです。無理しない活動を進めています。
お問い合わせ:公民館まで
【定例会】◆偶数月の第2木曜日
午後2時



| | (4月末) | 宇堅(外国人除く) | うるま市全体(外国人含む) |
|---------|----------------|-----------|------------------------|
| 人口(男/女) | 1,207(636/571) | △2(△2/-) | 124,063(62,322/61,692) |
| 世帯数 | 472 | △2 | 52,852 |
| | | | 49(3/46) |
| | | | 305 |

軽食にユンタク & レクリエーション & ピクニック

毎月第3火曜日の午後2時からミニデイを開催しています。
午後の楽しいひと時を公民館で！ ヤーグマイしないで(家にこもらず)、遊ぼう！



「ゴーヤー勝負」～宇堅長寿会～

今月2日は長寿会主催の「ゴーヤー勝負」があります。アタイグラー(家庭菜園)で育てたニガウリの出来栄を競います。地元のニガウリがご所望ならば、公民館にご連絡ください。生産者に連絡して、必要な分量を確保します。もちろん安く提供します。



戦後74年の「慰霊の日」に寄せて ～2019年 6月23日～

戦後74年が経ちました。戦争を知っている方がわずかとなり、戦後の豊かな時代に育った方が主流となりました。あわせて、駐留軍の影響で米人が身近に居て、軍用機が当然のように飛ぶ、異常な環境にならされています。去った太平洋戦争において、戦死した宇堅出身は左表のとおりです。
宇堅からの移民は多かったようで、南洋での戦死者が大半です。中でも十二歳以下の戦死者が全体の4分の1強を占めており、被弾や栄養失調、病气、そして沈没など、死亡原因が多岐にわたっています。弱い方々の犠牲が多い。(犠牲者の冥福を祈って、合掌)

宇堅の年代・死亡原因別戦没者数

| | 人数 | % | 死亡原因別内訳 | | | | |
|--------|-----|------|---------|---|----|----|----|
| | | | 被 | 栄 | 病 | 沈 | 不 |
| 12歳以下 | 53 | 26.5 | 13 | 9 | 6 | 6 | 19 |
| 13～19歳 | 25 | 12.5 | 19 | 0 | 0 | 1 | 5 |
| 20代 | 47 | 23.5 | 36 | 0 | 2 | 2 | 7 |
| 30代 | 29 | 14.5 | 19 | 0 | 0 | 5 | 5 |
| 40代 | 25 | 12.5 | 19 | 0 | 0 | 5 | 1 |
| 50代以上 | 16 | 8.0 | 5 | 0 | 9 | 0 | 2 |
| 不明 | 5 | 2.5 | 1 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| 計 | 200 | 100 | 112 | 9 | 16 | 21 | 41 |

被:被弾 栄:栄養失調 病:病死 沈:撃沈 不:不明

去年の「慰霊祭」の様子です。約60名の方が参列、焼香していただきました。



宇堅の慰霊塔には、260名の御芳名が記されています。この人数は、宇堅より大きい自治会の慰霊塔の御芳名より際立って多い。



「慰霊の日」際、この社会を考へる
富国強兵のもと資源を求めて隣国へ侵略し、これに対するハルノート(日米交渉文書)をはじめとする国際的圧力に反発し、事前に国力が違い、勝てない米国と開戦した。後戻りができない日本政府の愚かさや国民を悲惨な状況に突き落とし、単なる時間稼ぎのために地上戦を経験した沖縄。南洋を含めて、攻撃を受けての被害、仲間同士の集団自死など、筆舌に尽くしがたい、余りにも大きな犠牲を払いました。
明治期の薩摩進入から、いわゆる琉球処分を契機に大和の利益のために利用されました。そして、戦後は、国際法の抜け道(安保条約)をつくり、米軍施設が治外法権的に居座ることとなり、米軍関連の事件・事故の被害や環境破壊を受け続け、今日まで継続して、150年に渡る犠牲を払っています。
貿易をはじめ、文化・学術・スポーツ・婚姻等々、公的・私的を問わず国際化・国際的交流が進展している現在、人類の平和な生活を適宜考えることが求められていると思います。
戦前の軍部という実力部隊を後ろ盾にした軍人政治家によって政府が牛耳られ、マスコミは言いなりになり、国民もその流れに乗せられていったことが崩壊につながったと反省してきたはずの戦後でした。しかし、今の現政府の政策をはじめ、犯罪的汚職に対して、マスコミ(特に全国レベルの)がしっかりと監視して批判していない状況です。戦前の状況に近づいていると警告する良心的識者もいます。が、状況は悪化する一方です。
悲観的状況が進んでいる日本の政治社会です。でも、諦めたら終わりです。我々の生活は各種の法制度で成り立っています。法制度の制定・改定等の権限は国会です。学びつつ監視しなくてはなりません。